

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

企業理念

革新的なガスソリューションにより社会に新たな価値を提供し、あらゆる産業の発展に貢献すると共に、人と社会と地球の心地よい未来の実現をめざす。

売上収益
1兆円円

コア営業利益
1250～1350億円

EBITDAマージン
24%以上

GHG総排出量削減
18%

② 中長期の経営戦略

1. サステナビリティ経営の推進

2024年8月にTNFD参画。温室効果ガス削減と環境貢献製商品・サービス拡充に注力。保安・安全・品質向上・人権尊重・人財多様性確保を推進。

3. エレクトロニクス事業の拡大

半導体材料ガス及び関連機器の生産能力拡充。超高純度空気分離装置の製品化推進。最先端半導体製造パイロットラインへの対応強化。

2. カーボンニュートラル新事業

酸素燃焼技術開発とCCS用出荷タンク設備開発を推進。カーボンニュートラル社会実現に貢献する技術開発を加速。

4. オペレーショナル・エクセレンス

各事業会社の生産性向上活動を推進。グループ全体でベストプラクティス共有し、利益最大化を図る。ワーキンググループの拡張継続。

③ 対処すべき課題

① 事業環境の不確実性への対応

- ・地政学リスク長期化やサプライチェーン混乱への対応
- ・エネルギー価格変動と通商政策再構築への適切な対応
- ・景気後退懸念による事業影響への注視

② デジタル化とカーボン推進

- ・生成AI活用促進によるデジタル化の加速
- ・地域によるカーボンニュートラル推進速度の変動への対応

③ レジリエンス市場への展開強化

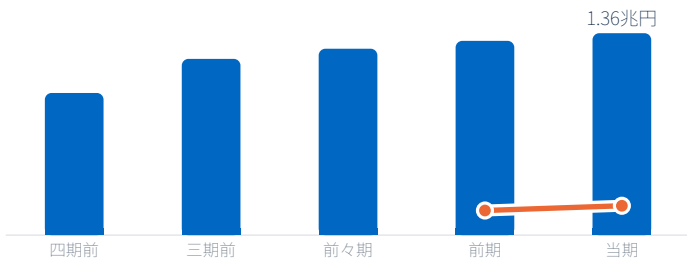
- ・食品・飲料、医療、環境関連市場への注力
- ・地域固有の経営課題への取り組み継続
- ・ガバナンス体制整備の推進

面接で使えるポイント

- ・NS Vision 2026で5つの重点戦略（サステナビリティ・カーボンニュートラル・エレクトロニクス・オペレーショナル…
- ・2024年8月にTNFDフォーラム参画し、2026年3月期目標としてGHG削減18%…
- ・半導体材料ガスや超高純度空気分離装置など、エレクトロニクス事業拡大を成長エンジンと位置付け…

証券コード 4091

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高

1.36兆円

営業利益率

14.6%

財務健康度

56点 / 100点

将来性 曇り / 就活偏差値 64.6（当サイト算出の参考指標）

平均年収

1,064万円

化学内 6位/204社

平均年齢

43.0歳

化学内 74位/204社

平均勤続

16.0年

化学内 100位/204社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

要するに

工業ガスおよび関連事業を主力とする素材・化学企業

主力事業・セグメント

- ・日本 29.9%
- ・TheUnitedStates 26.5%
- ・欧州 25.8%

強み・特徴（公開データから）

- ・連結売上高1.36兆円の大企業
- ・営業利益率14.6%の安定した収益性
- ・東証プライム市場上場

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: 日本酸素HD 産業ガスであらゆる産業のインフラを担う【IR広

